

■編集後記■

WEB JOURNAL 『翻訳研究への招待』6号をお届けします。
5号の後記でお知らせしたように、「翻訳研究育成プロジェクト」は「日本通訳翻訳学会研究プロジェクト」の一部として活動してきました。理事会に提出して承認された一年間の活動の記録を以下に転載します。

第1期活動報告

2月24日 WEB JOURNAL 『翻訳研究への招待』5号完成
3月16日 『翻訳研究への招待』1-3号をウェブで公開。
3月21日 第1回会合を予定するも震災の影響で会場が使えず延期
6月12日(日)第1回会合開催
岸 正樹「ベルマン著『ベンヤミンを読む』を読む」
7月23日 第2回会合開催
水野 的「訳読・サイトラ・同時通訳」
長沼美香子「訳読と翻訳論」
鴻巣友季子「訳しにくさの正体」
8月15日 WEB JOURNAL 『翻訳研究への招待』6号完成

第2期の活動計画も8月6日の理事会において承認されました。

第2期活動計画

- ・昨年に引き続き、本プロジェクトは、日本における翻訳研究の育成、定着と充実に資するための諸活動を持続的に行うことを目的とする。
- ・具体的な活動は以下のようなものになる。
 - 1) ウェブジャーナル『翻訳研究への招待』を継続発行する(年2回の発行を目ざす。特に院生に発表の場を提供したい。また英語版(abstracts)も作成し、活動内容を世界に発信する。)
 - 2) 研究会の開催:年3回程度開催する。これには会員以外のゲストを招聘することもある。
 - 3) 参加会員は『通訳翻訳研究』や内外のジャーナル、その他の媒体に寄稿したり、内外の会議で発表活動を行うなど、本プロジェクトの主旨に沿った活動を行う。
 - 4) 中長期的活動目標として、「翻訳論アンソロジー現代日本編」、「翻訳論アンソロジー外国編」、「翻訳関連文献集成」などを考える。
- ・提携先プロジェクトは未定であるが、語学教育における訳読や翻訳の位置づけの問題など、通訳教育との接点もあるので、通訳教育関連プロジェクトが承認された場合には提携先候補となる。提携先と協議の上可能性を検討したい。

活動の趣旨に賛同される方は積極的にご参加ください。なお、年次大会2日目(9月11日)の10:15から、「翻訳研究育成プロジェクト活動報告と第二期の企画について」というセッションが設けられています。この場で本プロジェクトのあり方、運営方法、企画について話し合いたいと

思いますので、関心のある方はぜひご参加ください。
次号(7号)は2月の発行を予定しています。投稿をお待ちしています。

2012年8月15日

WEB JOURNAL『翻訳研究への招待』編集委員会